



第30号

令和6年度下期

放生津地域振興会

発行責任者 宮島 伊佐夫

越の海

食生活改善推進協議会は、保健センターのご指導の下 食を通じて地域の方々の健康を支える活動をしています。

まず、放生津コミュニティセンターの文化祭ではうどん、住民ふれあいの集いでは、白鳩ボランティアの方々と共にカレーライス、春分の日には、おはぎを作っています。

また、放生津小学校学習の発表会では、味噌田楽とバザーのお手伝いも行いました。学習支援ボランティアとして、5・6年生の家庭科調理実習にも出向きました。

当協議会では、年3回料理講習会を開いています。今年度は、手軽で栄養の取れる朝食をテーマに雑魚やサラダチキンが入ったおにぎりや黒ゴマきな粉のフルーツヨーグルト。また、歯と口の健康のために根菜を使ったひじきと野菜のつくね卵あんかけやさつまいものチーズ羊羹。射水産のsprawトを使ったサンドイッチを参加者と一緒に調理会食すると自然に会話も弾みます。

地域の人のつながりを持つことは、運動することや肥満にならないことよりも死亡率に約3倍も影響があるといわれています。自分が楽しめることをマイペースに続けましょう。私達、食改は、地域の方々と楽しみながら活動しています。随時会員募集中！



食生活改善推進協議会
新湊支部 放生津地区

会長 濱野美智子

避難所開設訓練を実施して



能登半島地震の前からHUG（避難所運営ゲーム）などで非常時に備えていましたが、発災時は休日のため施設されている避難所内に入ることや避難者の確認の難しさが問題となりました。

そこで、令和6年11月24日（日）に新湊中学校へ避難する地区の訓練に合わせて、住民による避難所開設をFMB方式のカード型指示書により実施しました。



参加者は住民、関係機関合わせて200名ほどで、住民避難、避難所開設、防災講話、仮設テント、消火器取扱いを行いました。

開設訓練では、スタッフの任命、施設の安全チェック、体育館内の居住スペースの確保、避難者名簿の作成を行い、スムーズに施設管理者に引き継ぐことを目的としました。

訓練開始から体育館への避難者収容まで20分でした。改善点としては出入口付近の混雑、正確な名簿作成、備蓄品の少なさなどでした。

令和7年度は放生津小学校での避難所開設訓練の予定です。

令和6年度 放生津校区社会福祉協議会だより

放生津校区社会福祉協議会 会長 二口 憲夫

●11月16日（土）「住民ふれあいの集い」 参加者：223名

地域の三世代交流を目的として各種団体の協力を得て開催しました。

今年は、放生津保育園、放生津小学校2年生、新湊中学校の吹奏楽部に協力していただき、全員参加でマツケンサンバを踊り、大いに盛り上がりました。その後、毎年恒例のピンゴゲームやカレータイムで楽しい時間を過ごしました。



みんなの生涯学習・学級講座

生涯学習事業

●9月14日(土)

《ふるさと歴史講座》 「ふるさとの言葉と食べ物」

【講師】射水市新湊博物館
主査学芸員 松山 充宏氏

事前に、思い出に残る方言や郷土料理のアンケートをとり、抜粋してのお話を聴きました。

1300年前の太田家持の句や松尾芭蕉の紀行文「奥の細道」などに記されている文献からも、方言は生き続けていることもわかり、歴史的な観点や解釈の変遷、また祭礼とのつながり等、改めての説明を聞くと、新しい発見や納得のいくことばかりでした。

郷土料理に関しては、昔から受け継がれたものが多く、特に行事食の話になると「こんながあった、うちではこんながやった」等、それぞれの思いが詰まった話題で大いに盛り上がりしました。



●11月19日(火)

「料理教室」

(共催/放生津地区
食生活改善推進協議会)



●12月26日(木)

「ミニ門松作り」



高齢者学級

●10月10日(木)

「しばお君と百歳体操」



青少年学級

●12月14日(土)

「クリスマスケーキ作り」



(共催/放生津母親クラブ)

女性学級

●9月28日(土)・10月5日(土)

「編み物・押し絵教室」



●10月15日(火)

「ウエディングドレスを 着てみませんか？」



地域支え合いネットワーク事業について

●12月19日(木)

参加人数67名

「ミニクリスマス会」



百歳体操

神保寺自治会
「神保寺の輪
フィットネス会」の様子



放生津地域振興会

敬老会

対象者(75歳以上)

昭和24年9月15日以前に生まれた方

1,045名 ●米寿29名●白寿5名

【日時】 令和6年9月16日(月) 敬老の日
午後1時30分～3時

【会場】 放生津コミュニティセンター 1階集会室

当日は、130名近くの地域の高齢者の皆さんの参加のもと、放生津保育園児のお遊戯、小学校のまっつんサークルによるお囃子、今年は、お笑いコンビ雷鳥さんをお招きして皆さんに笑いを届けていただきました。そして最後には、コミセンの職員によるマツケンサンバで大いに盛り上がりしました。来年の再会を約束して大盛況のうちに終了しました。



太極拳同好会
サークル



放生津小学校の
めでの(4年生)



新湊めでた保存会



11月4日(月)

文化祭

今年は、飲食やバザーもあり、みなさんのご理解あるご協力のおかげで盛大に滞りなく終えることが出来ました。

各サークル発表の場以外に小学校のめでの、まっつんサークルのお囃子、子ども広場のフラダンスの踊り、中学校の吹奏楽の演奏、そして美術部の作品の展示とたくさんの方々の協力を得てにぎやかな一日を皆さんで楽しんでいただきました。



放生津の 曳山御蔵

四十物町



四十物町 曳山格納庫

- ① 建設年月 2021年9月
- ② 建設金額 約3,300万円
- ③ 総世帯数 36世帯

以前は日吉神社内に曳山を収納していました。当時は曳山巡行の準備から、曳別れ解体までに要する時間と作業負担が大変でした。世帯数の減少、少子高齢化に伴い、今後作業負担の緩和を考え、曳山御蔵をどうしても町内で建てたい気持ちが強くなるとともに町の願いでもありました。現在の場所は、国の整備事業で道路拡張のため、板谷幸子さんから土地を町で有効活用してもらえないかと話があり、その後ご家族の方からも板谷さんの遺志を尊重したいとのことで場所を寄付、譲渡してくださり建設が決まりました。山蔵建設につきましては、18年間蔵の建設に各世帯から毎月積み立てをした分と市からの協力金、町内ゆかりの方々、曳山関係者一同多くの方からのご協力金をいただき、建設することが出来ました。深く感謝しております。

13町で最後の山蔵となりましたが、曳山御蔵が出来たことで、これまで巡行するに至るまでの準備から蔵入れの負担が少なくなり、曳山関係者一同本当に感謝しております。時代の変化に対応しながらも、先人の方から受け継いだ祭りを次世代の引継ぎを見据え、山蔵は重要な役割を果たしていると思います。



生涯学習 センター外学習



一日研修

「朝日町&入善町の歴史と文化」

●10月28日(月) 参加者 26名

今年は、朝日町方面を中心に計画を立てました。

朝日町歴史公園「川上家」にて担当の方から、お茶の効能や茶葉の栽培場所などを聞いた後、順番にバタバタ茶体験をしました。「腹の黒い人は泡が立たんがや〜」など、笑いながら楽しく過ごしました。この後、「きんかい」にて名物のタラ汁を堪能して、生地の海岸でヒスイ探しをし、全部タダの石という残念な人もおり、始終笑いの絶えない道中となりました。

最後に、国指定天然記念物「杉沢の沢杉」を見学してきました。神秘的なとやまの水源の森に、気圧されそうになり、なかなか経験のできない雰囲気を感じて岐路につきました。



編集後記

アメリカの有力紙ニューヨーク・タイムズが「2025年に行くべき52か所」を発表し、日本から富山市が30番目に選ばれました。近年円安の影響もありインバウンドで海外からの観光客が激増しています。今年は富山にも多くの観光客が訪れそうです。

新湊地域でも海外からの観光客の姿をみかけるようになりました。皆さんスマホの翻訳アプリを片手に街中を散策されています。内川周辺の活性化の先駆けとなったカフェ「六角堂」が1月22日で開店12周年を迎え今も市内外のお客様が多く訪れています。ここ10年ほどで内川沿いに26店舗もの新しいお店が出来ています。多くは市外の方達で内川周辺の魅力にひかれて出店されています。お店の紹介マップなども発行されていますが残念ながら地元の人達はまだあまり関心がなく知らない方も多いようです。保育園や小学校の統合など寂しい話題もありますが、一方では町を元気にしよう頑張っている人たちもいます。私たちはもっと関心を持って応援していきたいものです。

(H・M)